

OUS 数理・データサイエンス・AI 教育ワーキンググループ

OUS 数理・データサイエンス・AI 教育プログラムの自己点検・評価

本学で開講している「OUS 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」に関連する授業科目（データを読みとく、技術を読みとく（データサイエンス））について、OUS 数理・データサイエンス・AI 教育ワーキンググループが以下のように令和4年度の点検・評価を実施した。

1. プログラムの実施概要

本プログラムは、「データを読みとく」と「技術を読みとく（データサイエンス）」との2科目から構成されている。令和4年度は「データを読みとく」を実施した。

2. プログラムの履修状況

「データを読みとく」の学部別履修状況を表1および図1に示す。開始初年度ではあるが、プログラム履修者率は全体の8.30%となっている。なお、技術を読みとく（データサイエンス）は令和5年度からの開講である。

表1：令和4年度「データを読みとく」の履修状況

単位：人	在籍者	履修者	履修率
理学部	1,709	142	8.30%
工学部	1,882	165	8.80%
情報理工学部	220	44	20.00%
生命科学部	133	40	30.10%
生物地球学部	578	97	16.80%
教育学部	406	4	1.00%
経営学部	575	48	8.30%
獣医学部	970	0	0.00%
総合情報学部	310	21	6.80%
計	6,783	561	8.30%

令和4年度「データを読みとく」履修者数

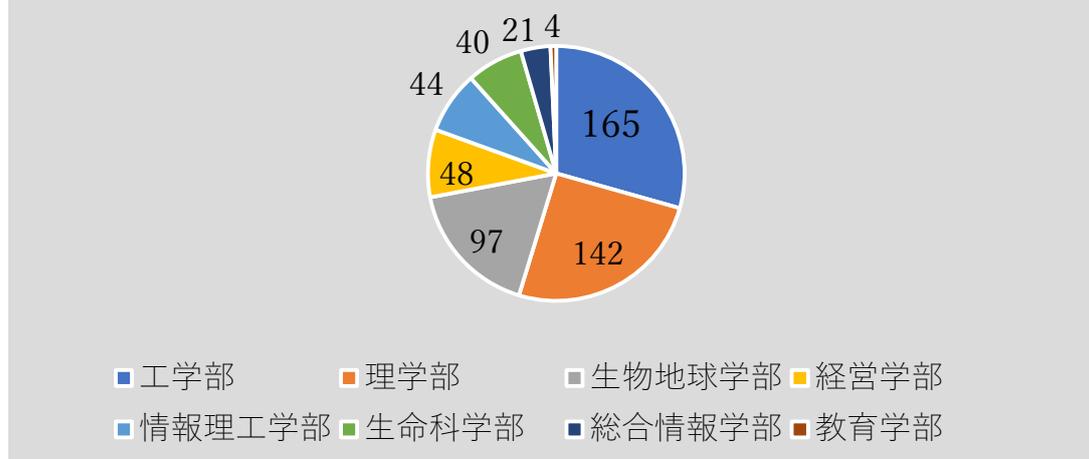


図 1：令和4年度「データを読みとく」の履修者数

3. 学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度

本教育プログラム受講者全員に対して授業アンケートを実施しており、教育推進機構教育開発センターにおいて学生の理解度を分析している。履修者561人のうち、回答者は400人であった。表2に結果の一部を示す。設問1, 2, 3では、それぞれの設問に対し肯定的な回答した割合を示している。設問4では「できた」と「だいたいできた」の割合を、設問5では「感じられた」と「少し感じられた」の割合を、設問6では「満足」と「ほぼ満足」の割合を示している。

設問4にあるように、内容の理解度は概ね良好であると言える。

表 2：授業アンケート結果

設問	回答
1 この分野への理解が深まった	79.50%
2 この分野への興味関心が高まった	31.50%
3 この分野での技能・技術が向上した	24.25%
4 シラバスに書かれているこの授業の目標を達成できましたか	80.75%
5 この授業に対する教員の意欲が感じられましたか	94.50%
6 総合的に判断して、この授業に満足しましたか	84.00%

4. 履修者数・履修率の向上に向けた計画

「データを読みとく」の年度別履修者数を図2に示す。履修者数は年々増加傾向にあるが、さらに履修者数の向上に向け、次のことを計画している。

- ・獣医学部は令和5年度に完成年次を迎えるので、カリキュラムを全面的に改訂することにより、全学開講を令和6年度より実施する。
- ・令和6年度では、初年次の全学履修科目である「フレッシュマンセミナー」において、OUS 数理・データサイエンス・AI 教育プログラムを、特に修了要件や学修成果などを中心に、紹介する。

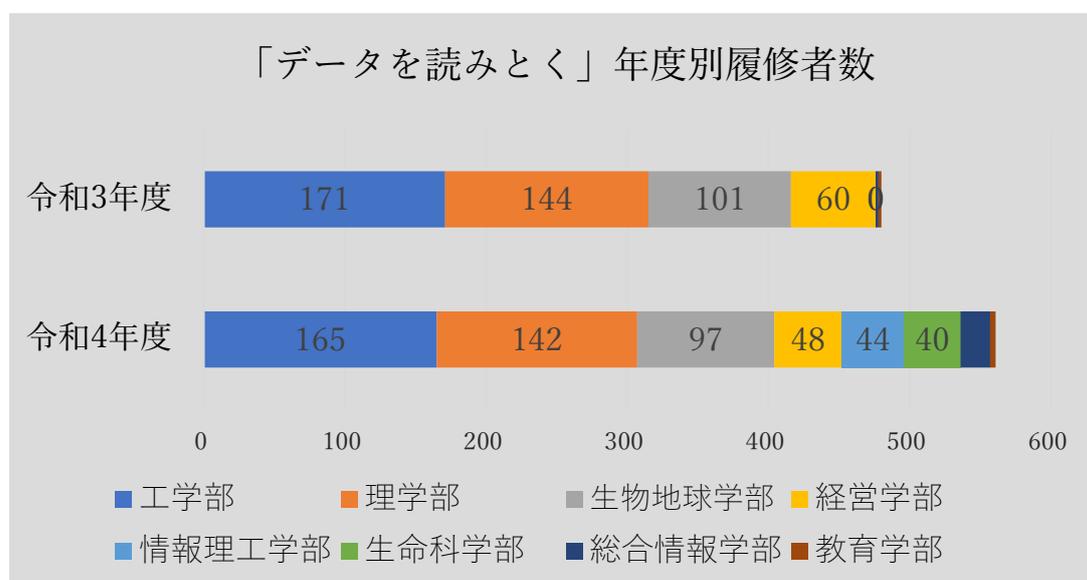


図2:「データを読みとく」の年度別履修者数

5. 教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価

本学が実施している卒業生キャリア状況調査¹を活用することにより、本教育プログラムを修了した卒業生の進路先や活躍状況を把握する予定である。

6. 産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見

OUS フォーラム²において、本教育プログラムについても紹介し広く意見を求めるこ

¹ 卒業生キャリア状況調査：卒業後3年が経過した時点で、卒業生とその卒業生の在籍企業の双方に対して、キャリア支援センターが実施しているアンケート調査。

² OUS フォーラム：本学研究者たちが持つ技術シーズを地域に紹介し産学官連携を推進するため、毎年開催しているフォーラム。

とが可能である。

7. 数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ,学ぶことの意義」を理解させる

数理・データサイエンス・AIモデルカリキュラム（リテラシーレベル）の導入部分に準じた内容を展開し，例えば，生成系AI（chatgptなど）の実例をもとに，AI等がどのように活用をされているかを中心に好奇心を促す講義内容としている．取り上げる実例については，学生アンケート等を活用し，その内容について評価を実施する．

8. 内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること

OUS数理・データサイエンス・AI教育ワーキンググループは，学生アンケート及びOUSフォーラム参加企業からの意見を参考に，学生の「分かりやすさ」の観点から講義の内容・実施方法の見直しを提言する．それを受け，岡山理科大学全学評価・計画委員会 教育推進部会において検討をする．